

Ⅲ 患者支援体制の充実

1 富山県がん総合相談支援センターの運営

(1) 目的

がん患者及びその家族等からの医療、心理、生活、就労などの 様々な相談に対応するとともに、がんに関する 様々な情報を提供

(2) 場 所 サンシップとやま 7階

(3) 開所日 相談受付時間：月～金（9～16時）土（13～16時）

(4) 事業内容

① 相談

相談件数（H28年4月～9月）：518件（面談69.5%、電話30.5%）

（H27年4月～9月）：503件（面談70.4%、電話29.6%）

《相談者の属性》

ア. 患者 78.6% 家族 17.6%

イ. 男性 24.9% 女性 75.1%

ウ. 年代 40代以下 11.2% 50～60代 53.9% 70代以上 19.7%

エ. がん種別 乳がん27.0% 子宮・卵巣がん13.9%
大腸がん9.8%

《主な相談内容》

ア. 不安や精神的苦痛	24.1%
イ. ピアサポーター・患者会に関すること	14.5%
ウ. 治療や検査に関すること	6.4%
エ. 症状や副作用、その対処方法	6.0%

・働く人の日曜相談会（4月24日、9月4日）

対応者：社会保険労務士ほか

② 情報収集・提供

- ・がんに関する書籍 約350冊
- ・国立がんセンターがん情報サービス小冊子
- ・インターネットによる検索

③ ピアサポーターの養成・育成

養成講座受講生 20名、フォローアップ研修会4回開催予定

ピアサポーターの活動支援（5か所の拠点病院での相談会や交流会の活動）

※ピアサポーター活動登録者：53名（H28.10月現在）

※ピアサポートとは

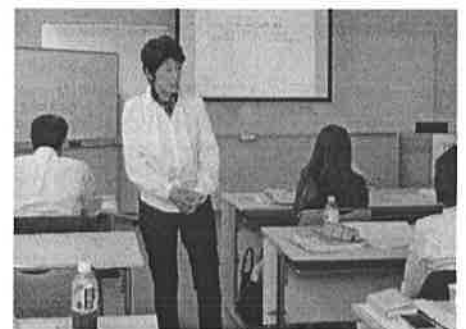
がんを体験した人やその家族などがピア（仲間）として体験を共有し、共に考えることにより、がん患者やご家族等を支えること。

④ 患者等の交流支援

- ・交流サロン（ピアサポーター主体）
原則 毎月第4土曜日13時30分～15時30分
- ・県内の患者会に関する情報提供



富山県がん総合相談支援センターのイメージマーク



2 乳がん患者を支える会

(1) 目的

乳がん患者の方々を対象に、治療やがんの体験に基づく講演、交流会を行い、患者や家族が前向きに病気と向き合っていくことを支援する。

(2) 主催 富山県

(3) 日時 9月25日(日) 13:30~16:00

(4) 場所 県民会館304号室

(5) 内容

○報告『TOYAMA. BCNサポートチーム10年のあゆみ』

八尾総合病院 乳がん看護認定看護師 加藤 直美氏

○特別講演『あなた、もしくは家族が“がん”と言われたときに
やっておくべきこと!』

講師 金沢赤十字病院副院長 西村 元一氏

座長 富山県立中央病院 外科部長 前田 基一氏

○情報交換会 デーマ『ありのままの私であるために』

(6) 参加者

約40名(乳がん患者及びその家族等)

3 小児がん講演会

(1) 目的

小児がんは7~8割が治癒・寛解する時代となり、小児がん経験者の自立に向けた心理的、社会的支援が必要である。そのため保護者や関係者が、患児や小児がん経験者への心のサポートについて、理解を深める講演会を開催する。

(2) 日時 12月10日(土) 13:30~16:00

(3) 場所 サンシップとやま 7階

(4) 参加者 小児がんの保護者、教育・保育・医療・地域保健関係者など

(5) 内容 ①講演 小児がんの子供と家族とともに

講師 (公財)がんの子どもを守る会 ソーシャルワーカー
社会福祉士 精神保健福祉士 樋口 明子氏

②ピアサポーター(小児がんの保護者)による相談

4 がんの教育

(1) 目的:がん及びがん患者への正しい理解と命の大切さの認識の向上

(2) 対象:小学校、中学校、高等学校 計5校の児童・生徒

(3) 内容:医師やがん経験者などの講義

